

以下、本文-----

腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術施行時の術中術後出血に対する緊急子宮動脈塞栓

術の有用性ならびに挙児希望例での妊娠予後に関する後方視的検討

1. 研究の対象

- ①2007年1月～2017年7月までに、腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術施行時の術中術後出血に対して、緊急子宮動脈塞栓術による治療を行った症例。
- ②術後最低1年以上、経過が観察できた症例あるいは電話や電子メールで予後が解析できた症例。
- ③治療に対する患者の同意が得られたもの。

2. 研究目的・方法

子宮筋腫核出術を施行する際の術中術後出血は、生命予後に影響及ぼす可能性のある合併症である。子宮全摘術を回避するために、行われる子宮動脈塞栓術による治療は、低侵襲で、患者へのメリットの多い治療となる可能性があるが、その様な症例を検討した報告は少ない。今回、後方視的に、腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術施行時の術中術後出血に対する緊急子宮動脈塞栓術を施行した症例を解析し、更に、挙児希望例での妊娠予後も含めて、その有用性につき検討することを目的とした。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術施行時の術中術後出血に対して、緊急子宮動脈塞栓術による治療を行った際の患者の臨床的背景や手術成績等の後方視的観察研究を行い、その治療成績を妊娠予後も含めて、評価する。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者: 岐阜県立多治見病院産婦人科 竹田明宏

住 所: 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

電 話: 0572-22-5311

-----以上